

3年	通年	<b>現代文A</b>	履修形態	全員履修（3修制）
			履修単位	2単位
科目の目標			教科書	現A308現代文A改訂版(大修館書店)
国語総合での学習をさらに発展させ、語彙力や読解力、表現力を高める。現代文（論理的な文章、文学的な文章）における筆者の主張や主題に思いが及ぶようにさせる。常用漢字の読み書きの力をつけさせる。			副教材等	プライム常用国語(第一学習社)
			履修条件	特になし
<b>学習内容</b>				
少人数学習（クラス2分割）を行う。授業の最初は副教材を使用し、就職の一般教養にあたる漢字や言葉の学習をする。少人数での授業の特性を生かして、活発に意見交換や討論を行う。ノートや提出物の点検を丁寧に行う。				
基礎的な学習を苦手とする生徒への指導上の工夫等		積極的に手を挙げて発言・発表させる。机間巡視を積極的に行い、きめ細やかな対応をする。		
評価方法		定期考査結果を50%、課題考査結果を20%、平常点（提出物や授業態度）を30%として評価する。		

### 授業計画（学習内容・学習活動・ねらい及び評価のポイント）

期	月	学習内容（単元名）	学習のねらい・目標
前期	4	随想『「きっと叶いますよ」』	働くということを、他者の経験を学ぶことにより考え、自らの職業観を高める機会とする。また、自らの働き方、生き方を考える。
	5	随想『どんな人になりたかったか?』	筆者の体験をもとに、筆者が理想とする人間像を読み取る。また、自らの理想の人物像も考えることで、人間としてのあり方、生き方を考える。
	6	評論『排球、そして千利休』	外来語を輸入しつつ形成された日本語や日本文化に対する筆者の考えを読み取る。論理の展開や要旨を叙述に即して的確にとらえる。
	7	評論『幸せの分量』	消費社会化が進む現代における幸福とは何かという筆者の考えを読み取る。また、現代社会の特色やそこに生きる人間の「幸せのあり方」について、考えを深める。
	9	評論『夢を建てる人々』	現代社会における幸せとは何かについて、筆者の主張を読み取る。職業や労働に関する文章を読み、社会に生きる意義や、働くことの意味を考える。
後期	10	小説『ころも』	登場人物の行動や心情、情景などを表現に即して把握し、人間の内部にある様々な感情や認識について考えを深める。文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間、社会、自然などについて考察する。
	11	小説『高瀬舟』	登場人物の行動や心情、情景などを表現に即して把握し、人間の内部にある様々な感情や認識について考えを深める。文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間、社会、自然などについて考察する。
	12	詩歌『短歌』	短歌の特色を理解し、観賞する態度や方法を学ぶ。我が国特有の韻文文化について理解を深める。
	1	詩歌『俳句』	俳句の特色を理解し、観賞する態度や方法を学ぶ。我が国特有の韻文文化について理解を深める。
	2	3分間スピーチ	自分の考えを相手にわかりやすく伝えるスピーチについて学習する。実際にスピーチをして、伝え合う力を高める。

### 学習評価の観点別規準と評価方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度・意欲
評価基準	正確に音読できている。 語句の意味を理解できている。 正しい漢字を書くことができている。	筆者の論理がどのように展開しているのかを把握している。 登場人物の心情を理解できている。 話の面白みを理解できている。 主題に関する感想をまとめることができている。 正しく現代語訳ができている。	教材で学んだことを自身の生活に引きつけて考えている。 積極的に考え、発言しようとしている。
評価方法	定期考査の結果 学習状況の観察	ノートの記述や発言・発表の状況	学習状況の観察 発言・発表の状況

### 学習サポート（選択をする生徒への助言）

忘れ物をしないこと。チャイムが鳴ったら席に着き、教科書とノートを開いておくこと。提出物を期限内に出すこと。